

全国高等学校 PTA 連合会大会（大分大会）に参加して

心配された暑さもさほどではなく、好天の下に日程が消化されました。1日目の分科会では、第1分科会を選択し、演題：今こそ考えてみよう PTA 活動の意義 講師：大分大学高等教育開発センター岡田正彦教授より御講義をいただきました。昨今、保護者の多忙化や個人主義の強まりなどを受け、会員数の減少が全国的な傾向となっていますが、保護者と学校、生徒がつながることで困りごとへの対応や、やりがいの共有になり、グループ協議を通じて学校ごとに抱えている問題点やその対策について話し合う時間が持たれました。私たちの後方に座っていた生田高校(神奈川県)の PTA 会長さん、副会長さんと約1時間余りに渡って意見交換し、大変有意義な時間を過ごせました。また、2日目は全体会の後、元プロ野球選手の内川聖一さんの講演がありました。自身の怪我の経験や両親との関わりを通じた子育て・人生観について語られた内容で、「マイナスをプラスに変える」「諦めてよいという秘訣」「日常のルーティンや声かけの意味」「習い事や夢について」を主な内容として語られ、大変興味深いお話しでした。新幹線に揺られながら、無事群馬まで帰ってきました。

